

収支報告

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄付金 (賛助会員費含む)	1,472万円	1,752万円	2,187万円
経常費用内訳	管理費 30% (375万) 事業費 70% (871万) 1,246万円	管理費 30% (544万) 事業費 70% (1,225万) 1,769万円	管理費 35% (747万) 事業費 65% (1,365万) 2,112万円
事業費内訳	マネークリップ 10% (91万) 実家便 90% (780万) 871万円	マネークリップ 12% (143万) 実家便 88% (1,082万) 1,225万円	マネークリップ 3% (41万) 実家便 97% (1,324万) 1,365万円

ご協賛・寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。
当財団の活動へのご理解と、ご支援・ご協力をお願いいたします。

直接のご寄付



年会費は、
個人1口¥10,000
法人1口¥50,000です。

賛助会員として支える



様々な協力団体を通じ、ご寄付を募っています。
右記のQRコードより最新の情報をご確認ください。



協力団体を通じて寄付



財団概要/役員

名称	公益財団法人あいである	代表理事	木皿 昌司	評議員	飯塚 良成
所在地	〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル3階	理事	笠作 真一郎 下田 隆二 中村 安志 三浦 保 吉田 倅子 吉田 義夫 渡辺 修三		太田 一平 安岡 利朗 若杉 千秋
TEL	03-6435-0444			諮問委員	坂本 輝子 坂本 博之 柴山 英士 村井 美紀
E-mail	info@idealideal.org				
設立登記	2015年4月1日				
公益認定	2017年4月1日				
		監事	相楽 行孝		



公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でないとされた子ども」の
健全育成支援を行う財団法人です。事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、
社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。

あいである
Annual Report 2024

ご挨拶 ～2023年度の支援事業 活動報告に寄せて～

日頃より当財団の支援事業にご理解とご賛同を賜り、厚く御礼申し上げます。実家便支援は、新規222名、継続509名、合計731名への支援を行いました。

継続支援者の前回からの継続率は97.4%。事業開始からの支援人数は1590名、利用施設数は144ヶ所となり、全児童養護施設数(610所)のうち、25%の施設で実家便を活用していただいています。

実家便は児童養護施設による施設退所者に向けたアフターケア事業のひとつとして利用されており、施設退所者と定期的に連絡を取る機会が持て、生活状況やサポートニーズの把握、具体的なサポートにつなげるなど、支援を届けられている中では事業目的を十分に果たせています。

退所者からは「食料品がたくさん届いて嬉しい。」「お菓子が嬉しかった」「すぐに食べられるレトルト食品とお米は有難い」「生活が苦しかったから助かった」「防災用品は必要だと思うけど、自分ではどうすれば良いかわからなかった」などの言葉が職員を通して報告されています。また、施設職員からの手紙が同封されていることに、「食品はめっちゃ嬉しい。でも、職員さんからの手紙も嬉しいよ」というコメントや、賛助会員からのメッセージについても、「知らない人も応援してくれていると思うと嬉しい」などの言葉も寄せられているとの報告も受けています。

5年間の継続支援がある実家便によって、退所者と継続的にコンタクトすることができ、退所者がどうして良いかわからない場面で躊躇しないで施設に連絡があるなど、施設職員からは良い関係作りにご協力を感じるとの報告もあります。

気持ちの波は誰にでもあることですが、実家便に入っている「あなたのことを気にしています」というメッセージが込められた職員からの手紙が、退所者を支える一助となっており、困ったときに自分から相談できるという、社会で自活することの基本が少しずつ身

についている例もあるように思います。施設と退所者をつなぐ架け橋として、継続して支援事業の意義、その効果を伝えて参ります。

お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」は、4か所の施設を訪問しレクチャーを行うことができました。

お金の管理は、退所後にお金にまつわるトラブルに巻き込まれやすいこともあり子どもに身に付けさせたいスキルですが、その学ばせ方に各施設で苦慮されているところです。

マネークリップは、施設を退所した後のお金の管理や生活設計、コミュニケーションを体験できるカードを使ったゲームですが、レクチャーの進め方などを紹介する動画を施設訪問前に送付し、事前にレクチャー概要を理解していただくようにしています。座学ではないゲーム形式のマネークリップは、施設職員によるレクリエーションとして取り組みそうだとの感想を得ており、施設職員から子どもへのアドバイスのきっかけづくりにもなっています。レクチャーでカードを使用することでビジュアルで確認がしやすく、説明や注意喚起の機会ができるのとの話を伺っています。レクチャー動画の活用を含め、マネークリップレクチャーの紹介、支援を積極的に行って参ります。

食品支援をきっかけとした心理的サポート、お金の管理を含む社会的スキルを身に着けるための機会提供など、施設措置された子ども、子どもを養育している施設にとっても、当財団の支援はそのニーズに応えるものとご支持をいただいています。また、各児童養護施設で配置が進んでいる自立支援担当者間での情報共有の中で、当財団の支援事業についても共有されることで、支援申請に関する問い合わせも増えています。当財団は多くの方々からの寄付によって運営、支援事業を行っています。私どもに託された支援を、社会的養護を必要とする子どもへの支援として効果的に届けて参りますので、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

代表理事 木皿 昌司

【公式Facebookを開設しました!】

あいであるの取り組みを身近に感じていただけるよう
情報を発信してまいります。ぜひフォローをお願いいたします!
右のQRコードから、アクセスできます♪



実家便[®]

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。

継続支援者宛 令和5年6月送付



新規支援者宛 令和5年6月送付



継続支援者宛 令和5年12月送付



お米の購入費用を助成いただきました！



公益財団法人

お金をまわそう基金

令和6年度も、実家便に同梱する「お米」の購入費用を「お金をまわそう基金」の寄付サイトに集めています！

右のQRコードからご寄付いただけます♪
(受付期間は2025年3月末まで)



実績

令和3年度

新規支援人数 200
継続支援人数 441
対象施設 115

施設退所者へのアフターケアが強化される中で、各児童養護施設の自立支援プログラムとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、昨年同様、新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

令和4年度

新規支援人数 200
継続支援人数 491
対象施設 119

平成28年児童福祉法改正を受けた「新しい社会的養育ビジョン」で施設退所者へのアフターケアの強化が明示され児童養護施設に自立支援担当職員の配置が進む中で、「実家便」事業は、各児童養護施設による自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

令和5年度

新規支援人数 222
継続支援人数 509
対象施設 122

フードバンクからの商品提供はコロナ禍の影響もあり貧困家庭等への支援強化により他へ分散する傾向が強いが、協賛企業からの支援によって内容物の充実を図ることができた。一方で、物価高騰の影響を受け一部商品で購入価格の値上げ、宅配料金の値上げがあり、今後その影響は避けられないこととして注視している。昨年同様、自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。

「お金の管理に関するレクチャー」



カード形式のゲームで、
取りくみやすい内容です。

社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について
学ぶためのレクチャーを行っています。

社会的養護施設の下で暮らす子どもは、お金の管理や心構え、契約手続きなど社会人として必要なスキルを学ぶ機会がほとんどないまま18歳で施設などから退所し、社会で自活を始めます。未熟なまま施設を退所せざるを得なかった要社会的養護児が金銭的トラブルに陥らないよう、社会適応力をつける機会として、お金の管理や、生活設計について学ぶレクチャーを開催しています。

実績

令和3年度

新規5団体、継続2団体

コロナ禍の中、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いている。助成金を得て、レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画を制作し、申請のあった施設に配布した。動画は、職員に向けたお金に管理についての啓もう、意識統一の面でも有用であり、視聴した職員が子どもへのレクチャーを行ったとの報告も受けている。今後は動画の紹介、活用方法など積極的な案内が必要と考える。

令和4年度

新規2団体

コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはないが、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いていた。レクチャーの申請は受けており、感染が落ち着いた中で施設訪問によるレクチャーを実施することができた。レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことで、レクチャーへの理解が深まるとの話も聞けており、さらなる活用の仕方をレクチャー現場でヒアリングしながら検討している。

令和5年度

新規4団体

レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことを推奨し、レクチャーへの理解が深まるよう対応を取っている。マネークリップは、お金の管理を体験するツールであるとともに、座学ではないゲーム形式が子どもにも受け入れやすく、多様なレクチャーカードを用意したことで、社会生活の中で起こりうるトラブル例の説明や、社会生活で必要なコミュニケーションの仕方を学ぶツールにもなるとの評価を、レクチャー実施施設からの報告として受けている。

Follow me!!



Instagramを開設しました！

あいであるの取り組みを身近に感じて
いただけるよう情報を発信しています。

右のQRコードから、アクセスできます♪



ぜひフォローを
お願いいたします！



Annual Report 2024 実家便

実家便を受け取った 子どもの声

実家便最終回を受け取った子どもから、
施設の先生、支援者の方へ向けて。

実家便が届くたびにあってあるの
ボランティアの方や 施設の職員の方
のお手紙が入っていて、それを読む
のが、嬉しくて、毎日楽しみに
していました。もう、実家便が
来ないかなと思うと、正直、さみしい
感じがします。けれど、5年間も
変えてもらったのだから、私もお礼
になって、誰かのために
がんばろうと思います。
本当にありがとうございました。

実家便が届くたびに、先生から
お礼の手紙をもらって、とても嬉し
いと思います。特にコロナの影響で、お礼の手紙を
もらえないことが多かったのですが、
先生からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。
先生からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。

まずは、実家便を準備し、送って
ください。実家便の準備は、施設の職員の方
から、お礼の手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。
先生からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。

長い間のご支援、
本当に有難うございました！
日用品は、とても助かりました。
食品は、大切に、いただきました。
自分はいっしょに食べて、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。
先生からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。

5年間、実家便を送って
下さり、ありがとうございます。
施設の先生方、5年間、本当に
大変な思いを、本当に
感謝しています。

たくさん、食料品や日用品を、送って
下さり、ありがとうございます。先生
からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。
先生からのお手紙をもらって、とても
嬉しかったです。先生からのお手紙を
もらって、とても嬉しかったです。

実家便の支援実績

支援年度	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年
支援者数	235名	374名	456名	551名	585名	641名	691名	731名
新規支援者数	143名	166名	172名	207名	180名	200名	200名	222名
対象施設	62	85	96	113	122	115	119	122

活動の状況

全国の児童養護施設
610ヶ所のうち

**144ヶ所で支援の
実績**があります。

実績 支援実績のある
都道府県34(現状)



ご協力企業・団体 多くの企業・団体様のご協力をいただき活動しています。

株式会社 **アーテック** 株式会社アーテック



前田製菓株式会社



株式会社 白子



マルコメ株式会社



認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン



コストコホールセール ジャパン株式会社



株式会社たらみ



株式会社石崎商店



株式会社パン・アキモト



株式会社ヒサゴサービス



ブルーミング中西株式会社



日本ハムマーケティング株式会社



まいにち株式会社



鍵林製菓株式会社

その他

(※ 順不同・敬称略)